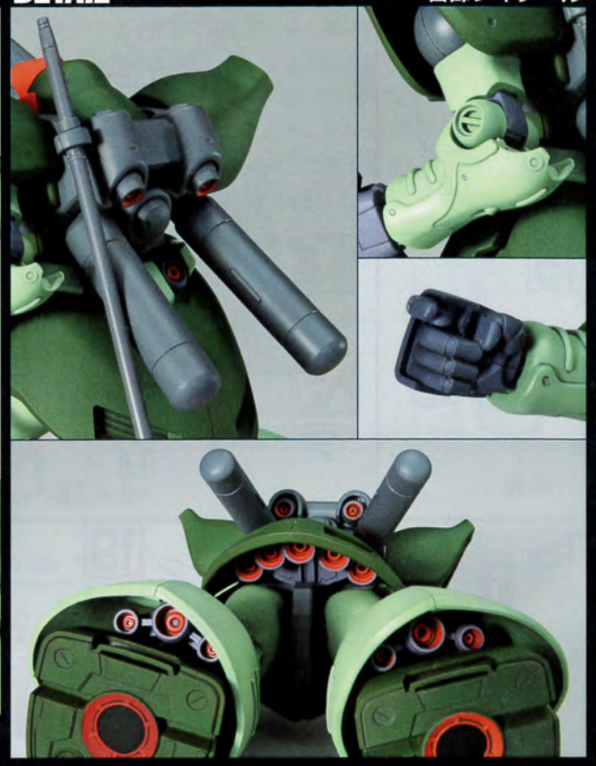
HEAT SABER　ヒート・サーベル



DETAIL　各部ディテール



90mm MACHINEGUN　90mmマシンガン



GIANT BAZOOKA　ジャイアント・バズ



REAR VIEW　リアビュー



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

●肩部等：	●腕部等：	●胸部等：	●関節等：	●頭部前面等：	●武器等：
ダークグリーン（60%） +カーキグリーン（30%） +ブラック（10%）	カーキグリーン（50%） +ホワイト（30%） +イエローグリーン（20%）	ニュートラルグレー（95%） +ネービーブルー（5%） +ブラック（少量） +レッドブラウン（少量）	RLMグレー75（80%） +パープル（10%） +ブラック（10%）	モンザレッド（100%）	ニュートラルグレー（95%） +ブラック（5%）

MS-09R-2 RICK DOM Ⅱ

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

©創通・サンライズ

MODEL NUMBER：MS-09R-2
TOTAL HEIGHT：18.6m
WEIGHT：45.6t
TOTAL WEIGHT：79.9t
GENERATOR OUTPUT：1219kw
MATERIAL：TITANIUM ALLOY
AND CERAMICS COMPOSITE
ARMAMENTS：GIANT BAZOOKA
STURM FAUST
90mm MACHINEGUN
HEAT SABER
BEAM CANNON



1/144 SCALE
HG
UNIVERSALCENTURY

BANDAI 2008 MADE IN JAPAN

●写真の完成品は塗装してあります。

0155740

BANDAI

MS-09R-2 RICK DOM Ⅱ

陸戦用MSとして開発されたMS-09 ドムは、空間戦闘用MS リック・ドムへと仕様変更を受け、優秀な戦績を残した。一年戦争後期、公国軍において統合整備計画が実施され、複数のMSの生産工程が変更されることとなった。いわゆるリック・ドムもこの計画によって設計に変更を受け、より宇宙空間での運用に適した機能と、改善された空力形状を持つ機体として再開発されることとなった。それが、このMS-09R-2 リック・ドムⅡ（ツヴァイ）である。この機体は、MS-14（ゲルググ）の技術なども導入されており、生産工程の簡略化と機体強度の増加、スラスター推力の向上など、各部の基礎的な機能強化と改善が図られているほか、第2期生産型コクピットの採用によって操作性が改善され、パイロットの負担が軽減されている。リック・ドムⅡは、本格的な量産体制が整い次第、各地に配備される予定であったが、その前段階で終戦を迎えたため、実戦配備された機体数は非常に少ない。それでも、U.C.0083年のデラーズ紛争時には相当数の機体が目撃されており、パーツ状態のものも含めた最終的な生産数は不明である。さらに、ライトグリーンで塗装された機体のほとんどは、大気圏内やコロニー、重力下での運用も可能なよう調整された機体であったと想定されている。例えばMS-14（ゲルググ）は、特に地上用の改装を受けていなくとも、地球上で戦後数年を経ても稼働可能な機体が複数存在した。その技術や部材の一部を採り入れたMS-09R-2 リック・ドムⅡが、MS-06F（ザクⅡF型）並の汎用性を獲得していたとしても不思議ではない。市街戦のさなか、仰向けでバズーカを構える連邦軍の砲兵が、ライトグリーンで塗装された本機を狙い撃つ寸前の模様を収めた写真集が、そのフォトグラファーの死後に出版されるなど、傍証も皆無ではないのである。ちなみに「ツヴァイ」とは独語で“2”を意味する。

SPEC

型式番号：MS-09R-2
全高：18.6m
本体重量：45.6t
全備重量：79.9t
ジェネレーター出力：1219kw
装甲材質：チタン・セラミック複合材
武装：ジャイアント・バズ
　　シュツルム・ファウスト
　　90mmマシンガン
　　ヒート・サーベル
　　拡散ビーム砲

ジャイアント・バズ

一年戦争時に使用されたMSの携行用としては最大級の実体弾武装。ドムおよびリック・ドムの代名詞ともなった武装だが、大戦末期にはドム以外の機体にも多用された。





シュツルム・ファウスト

一年戦争後期に多用された使い捨ての簡易型ロケットランチャー。自動追尾装置などは無く、移動する標的に命中させるのは非常に難しいが、携帯用の武装としては強力な破壊力を持つ。

ヘッドユニット

ドムタイプのモノアイは3次元的な走査が可能なようレールが配置されている。リック・ドムⅡは更なる“視野”拡大のため、モノアイカバーを球面構成としている。

90mmマシンガン

公国軍の一般的MS用火器。形式はMMP-80。グレネードランチャーを装備可能な後期型も存在する。

プロペラントタンク

リック・ドムⅡ専用のプロペラントタンク。通常の場合と比べ、作戦行動時間が2倍以上延長される。

ヒート・サーベル

刀身部が白熱化し、敵の機体を溶断する。サイド6に派遣された機体には装備されていなかったが、戦後、公国軍残党などが運用した際には、その装備、運用が確認されている。

拡散ビーム砲

初期のMS-09に搭載されたデバイスよりも高出力化されており、幻惑効果のみならず、近接戦闘時には短距離ビーム砲としても効果がある。

この商品には、リック・ドムⅡ ライトグリーンバージョンが1セット入っています。

MS-09R-2 リック・ドムⅡ ライトグリーンバージョン

リック・ドムⅡ（ライトグリーン仕様）は、OVA作品「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」に登場したMSである。U.C.0079年12月13日。サイド6（リーア）のリボーコロニーがジオン公国軍と地球連邦軍の戦闘に巻き込まれ、コロニー内部にMS部隊が侵入。その際、ライトグリーンに塗装されたMS-09R-2 リック・ドムⅡが、MS-06FZ ザクⅡ改との混成部隊の中で目撃されている。それに続き、ジオンのMS混成部隊を追ってきた連邦軍のジム・コマンドが侵入。リボーコロニーの市街地で戦闘を繰り広げる。同日、別のコロニーにWB（ホワイトベース）が入港しており、この戦闘は、それに伴う小規模な衝突であったと考えられている。この戦闘で被弾したMS-06FZ ザクⅡ改は、付近の小学校を接触寸前で飛び越え、郊外の森林公園で擱座した。発見当時、パイロットは既に友軍と共に脱出したらしく、リボーコロニーの担当課員では、武装解除の後、放置するほかなかったようだ。サイド6は中立宣言を堅持しており、双方に対して戦闘行為を激しく非難したものの、この時期、サイド6は連邦政府との安全保障条約を締結する前であったため、具体的な対処を執る事ができなかったとされている。この時点においても、リーア政府は中立を放棄するつもりは無かったとされている。戦争そのものを忌避する世論がいずれかの勢力に与する事を許さなかったからである。ところが、WBとコンスコン隊の激戦や、リボーコロニーで起きた惨劇などを経て、望むと望まざるとに関わらず、サイド6の住人たちは、自分たちが戦争の当事者とされてしまう事に気づいたのであった。それに前後して、連邦政府とサイド6のランク政権は急速に接近し始める。そしてさらに、連邦軍のなし崩しの参戦を招いた同月19日のMS-18E ケンプファーとRX-78NT-1 アレックスの戦闘などを経て、立て続けに起きた公国軍の暴挙に対する反発もあってか、連邦軍とリーア軍の安全保障交渉はこの後、締結に向けて急速に進んで行くこととなるのである。



●写真はイメージです。

「ポケットの中の戦争」、リアルな戦闘のドラマがよみがえる.... HGUC SERIES LINEUP

HGUCシリーズのラインナップをチェックせよ!!

MOBILE SUIT GUNDAM 0080 "WAR IN THE POCKET"

「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」

中立のサイド6（リーア）のリボーコロニーに住む戦争ゴッコ好きなごく普通の少年アルが、連邦軍のニュータイプ用ガンダムを追ってやってきたジオン公国軍サイクロプス隊隊員のバーニィと出会ったことを発端に、公国軍対連邦軍の巨大な戦争の歯車に巻き込まれていく。改良や特殊化により、飛躍的な性能向上を遂げたMSたちが戦闘を繰り広げる。

※この商品には、リック・ドムⅡ ライトグリーンバージョンが1セット入っています。



No.039
「ズゴックE」HG
「ズゴックE」は、いわば“ズゴック”が得ようとしていた本来のスペックをほぼ達成した機体であるといえる。



No.037
「ハイゴッグ」HG
「ハイゴッグ」は、隠密性や火力充実などで高い評価を得ているゴッグの機体コンセプトのみを継承した新設計機である。



No.038
「ジム寒冷地仕様」HG
「ジム寒冷地仕様」は、着氷や氷結対策、各部の凍結防止や防寒処理などが施されている。



No.046
「ジム・コマンド」HG
「ジム・コマンド」は、一年戦争末期に開発された全面改修後の局地戦用の機体である。



No.087
「ザクⅡ改」HG
「ザクⅡ改（ザク改/ザクFZ）」は、一年戦争時のザクのバリエーションの中でも最も後期に開発されたものである。

⚠ 注　意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子さまには絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

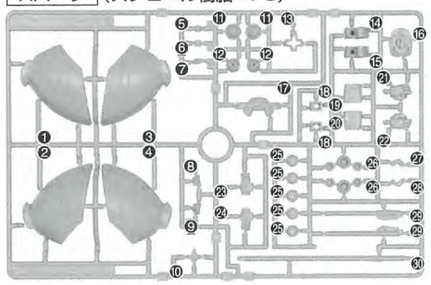
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

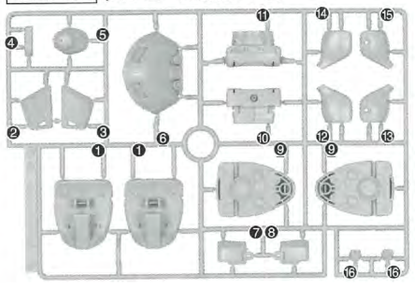
・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

パーツリスト （×印は使用しないパーツです。）

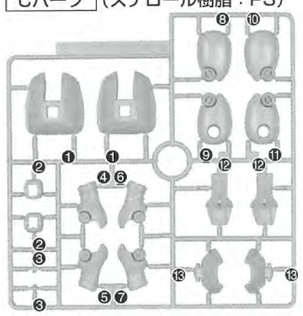
Aパーツ （スチロール樹脂：PS）



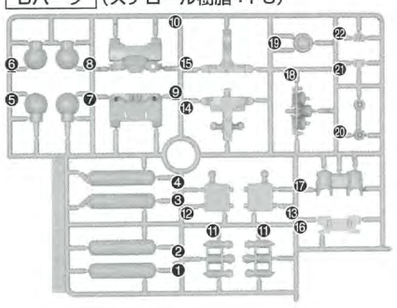
Bパーツ （スチロール樹脂：PS）



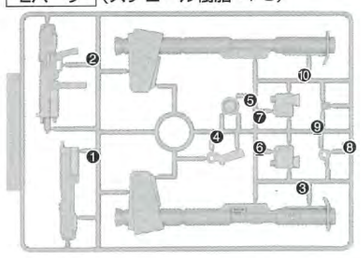
Cパーツ （スチロール樹脂：PS）



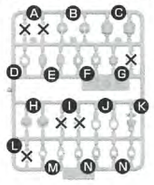
Dパーツ （スチロール樹脂：PS）



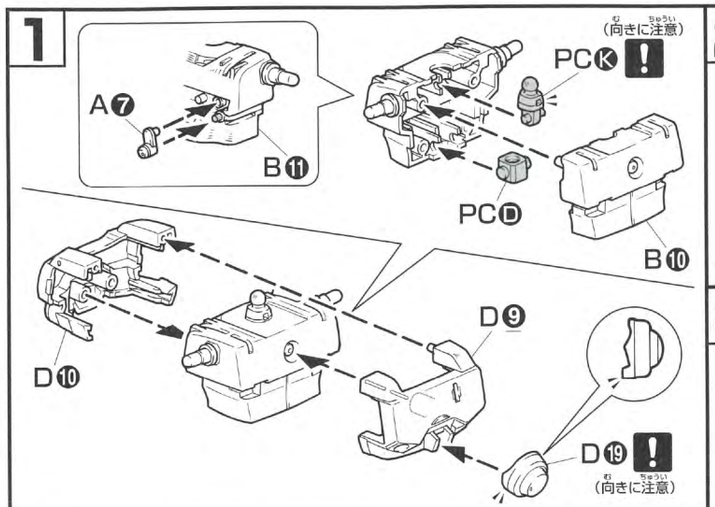
Eパーツ （スチロール樹脂：PS）

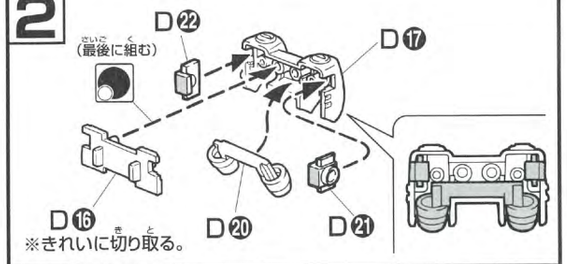


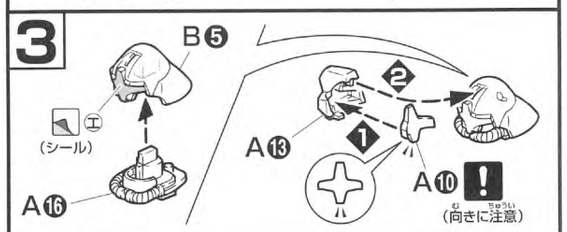
〈PC-123プラス〉
（ポリエチレン：PE）

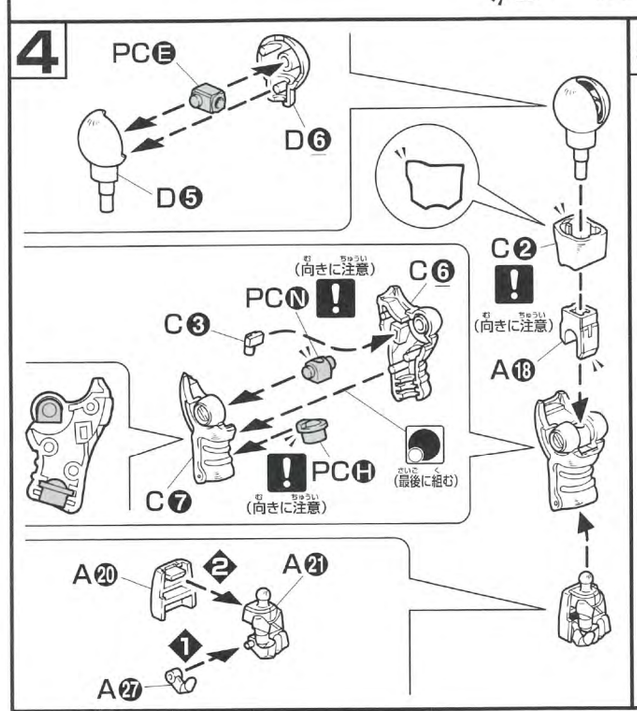


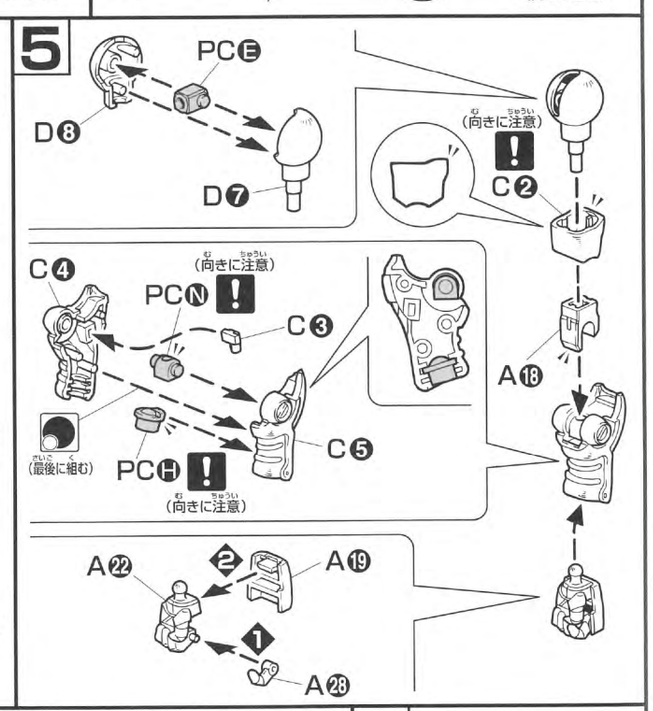
●シール……1

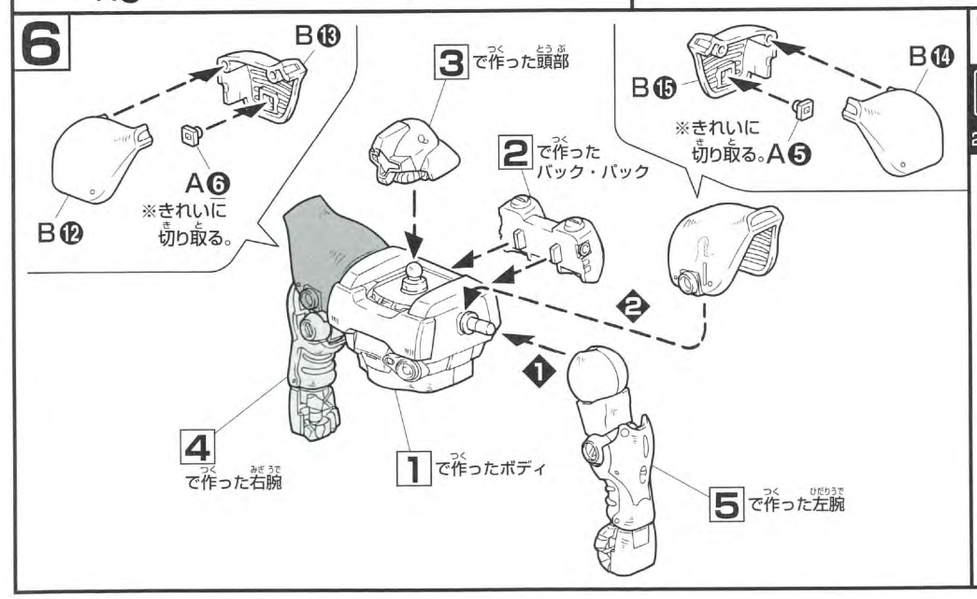


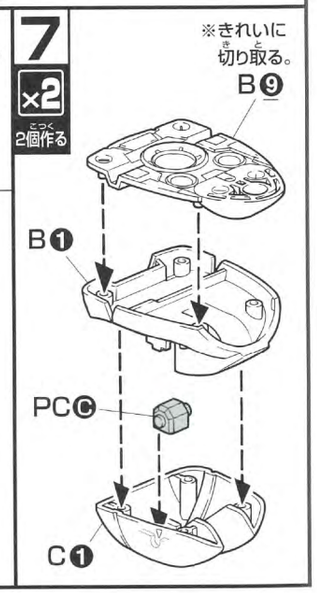












8

PCF
D⑪
PCM
A④
D⑬
A㉖
裏返します
A③
C⑬

9

PCB
C⑨
PCJ
※奥まで
しっかりと、
はめ込みます。
C⑧
A⑭
C⑫
8
(向きに注意)
B⑯
7

10

D⑪
PCM
A㉖
裏返します
PCF
A②
D⑫
A①
C⑬

11

C⑪
PCB
C⑩
PCJ
※奥まで
しっかりと、
はめ込みます。
A⑮
10
C⑫
(向きに注意)
B⑯
7

12

PCN
D⑭
D⑮
PCN
B④
B⑥
PCG
D⑱
A㉕
A㉕

13

A⑰
(シール)
ウ
A⑧
B②
B③
12
A⑨

14

A㉓
B⑧

15

A㉔
B⑦

16

14
13で作った腰部
15
9で作った右脚
11
で作った左脚

17

(シール)
イ
(シール)
ア
6
16

18

×2
2個作る
(向きに注意)
A⑪
A⑫
A㉙

19

(向きに注意)
E⑨
E❶・E❷

20

E⑩
E④
E③
E❺
E❻・E❼

21

(左手にも持たせられます)
20で作った
ジャイアント・バズ
18で作った
シュツルム・ファウスト
19で作った90mm
マシンガン
(選んで取り付ける)
A㉚
(向きに注意)
E⑧
D❷・D❸
(向きに注意)
広い
せまい
(選んで取り付ける)
D❶・D❹
(向きに注意)
(左手にも持たせられます)